

情報交差点・心と心の交わり

あじまへ

大宜味村教育委員会
電話 44-3006
FAX 44-3020

大保区初優勝！！

村野球大会



5月21日（日）各字対抗で行われる村野球大会（主催：大宜味村体育協会）が大宜味小学校・中学校グラウンド及び辺土名高等学校グラウンドで開催されました。

当初2週にまたがって開催予定だった日程を1週目の天候不良により、1日開催での日程に短縮して、6チーム参加のトーナメント方式で行われ、各試合とも熱戦が繰り広げられました。

決勝戦は昨年度準優勝の田嘉里区と、勝てば初優勝の大保区との対戦になりました。試合は大保区が先制し、田嘉里区がすぐに追いつく展開となりましたが、地力に勝る大保区が終盤で引き離し、5-2のスコアで見事初優勝を飾りました。

今大会の個人賞には、殊勲賞：辺土名朝蓮さん（大保区）、敢闘賞：知念伸さん（田嘉里区）、打撃賞：金城宏武さん（大保区）が選ばれました。

学校行くの楽しみ!

**安心して学べる環境づくり
就学援助制度**

あなたも
**シュウガク
エッセ**
利用できるかも!

就学援助制度って?

学校教育委法などにもとづいて、小・中学校の子どもがいる家庭に学用品費や学校給食費などを市町村が援助する制度です。

学用品や毎月の給食費、修学旅行費の工面が大変そう…。そんな時には、**就学援助制度を申請してみませんか。**沖縄県内でも小・中学生のいる多くの家庭が利用している「就学援助制度」。気軽にご検討ください。

対象と援助の内容 対象は、小・中学校の児童生徒のうち、いずれかに該当するもの。

1. 要保護者…生活保護法第6条第2項に規定 2. 準要保護者…市町村教育委員会が、要保護者に準すると認めるもの

給食費 新入学用品費 学用品費 校外活動費 修学旅行費 医療費

* 援助の内容は市町村によって異なります。

詳しくは大宜味村教育委員会または学校にお問い合わせください。

大宜味村教育委員会 ☎44-3006
大宜味小学校 ☎44-1306 大宜味中学校 ☎44-2840

昨年9月に国立公園になった大宜味村。その魅力はまだまだそこ知れず…
ぶながやの里生涯学習講座

大宜味 ふぎ発見! 夜の生きもの観察会



日時：2017年7月15日（土）夕方～

場所：大宜味村内（集合場所は旧大宜味小学校）

講師：村山望さん

定員：先着15名 ※要申込み

参加費：100円（保険料）

持ち物：懐中電灯



※開始時間など詳しい日程については後日チラシにて（公民館などに掲示）連絡します。

申込・問合せ：大宜味村教育委員会 ☎44-3006（担当：倉持）

集って話そうシマのこと…ぶながやの里生涯学習講座ちかーていんましまふとうば①

5月23日（火）、旧大宜味小学校つどい室において、平成29年度ぶながやの里生涯学習講座1回目として「ちかーていんましまふとうば①（使ってみよう島言葉①）」が行われました。

今年2月18日（土）に行われた「しまふとうばであしば」の参加者から、定期的にこのような講座があるといいという声があがり、今年度は沖縄の伝統行事などをテーマにあげ、そのテーマに沿ってみんなでゆんたくはんたくしながら、自然に島言葉を使っていくことを目標に始めてみました。

今回のテーマは「アブシバレー（畔払い）」。「塩屋では初孫が生まれた家が豆腐を配るよ。」「昔、北谷から来た先生がアブシバレーの意味がわからなくて、浜に集まるって言うし、ビーチバレーでもするのかと思って短パンで行ってしまったと聞いたことがあったよ。」「今は歌われていないけど昔、饒波のエイサーにはやなものいけ（嫌なもの払え）と歌う所をマークイファー（宮古のものいけー）と歌っていたよ。」、など行事にまつわるエピソードも聞きました。他にも「今年はウンガチターチャー（旧暦の5月が2回ある年）。ウンガチターチャーの時は気象がおかしかったり、災害が起こったり作物があまりできない年だけど、女の人は風のおいを嗅ぐだけで妊娠すると言われていて、悪いことだけでなくいい年でもあるよ。」「ウンガチターチャーのようにウンヂチ（うるう月がある年）は仏壇を新しくしてもいい年だよ。」など、初めて聞いた話や、旧暦についての話も聞きました。



また、旧大宜味小での開催であったため、ぶながやっ子ハウスに通っている子ども達も飛び入りで参加。島言葉での上手な自己紹介に参加者も笑顔になりました。



子ども達の登場で一層盛り上がりました 気軽に参加してください。

「ちかーていんましまふとうば」は奇数月の第3火曜日に開催します。

今回は島言葉を使うより昔話に花が咲いた会となりましたが、このような緩く楽しいゆんたく会なので、興味のある方はお気軽に参加してください。

大宜味村児童生徒等県外派遣についてのお知らせ

大宜味村では、児童生徒（小学生・中学生・高校生）が県外で開催される運動競技または文化活動等における大会等に、予選または審査等の結果、代表として参加する際の派遣に要する経費に対し、補助金を交付しています。

※交付対象となるものには、条件等があります。詳細については、大宜味村教育委員会までお問合せください。

大宜味村教育委員会 ☎44-3006 fax44-3020（担当：大宜見）

でーじあしば、でーじならゆん いぎみぬうーまー、あちまいん!

平成29年度わんぱく体験団

第1弾「わんぱくフェスティバル 2017」

今年も始まりました。わんぱく体験団!毎年気になるのが団員数。

さてさて、団員はどれくらい?

じゃじゃ〜ん! なっ、なんと、64名もの子どもたちが団員になりました。

この数はわんぱく史上、1位タイとなる大所帯。わんぱくの人気はまだ衰えていなかった!! ホッ…(^_^)

嬉しい反面、これからも楽しく飽きさせない活動を続けていかなければとプレッシャーを感じながら、記念すべき第1回目の活動が5月13日(土)旧大宜味小学校体育館で行われました。

今回の活動はいつもお世話になっている琉球大学の学生さんたちが講師。チームに分かれて様々なレクで競う「わんぱくフェスティバル 2017」の始まり、始まり…



今回、集まったのは49名!

まずはアイスブレイク



離れ島(新聞乗り)



瞬間移動ゲーム



ジャンケン列車



丸太ころがし



頭と体をフル活用! 言うことやることゲーム



↑地味に熱戦、オセロゲーム



←白熱! しっぽとり!!



みんな大好き♪五色綱引き

始めの自己紹介ではドキドキだったわんぱくたちもレクを進めていくうちに同じチームの仲間たちとも打ち解け、本領発揮!

みんなで心を一にするレクや協力しあっているレクなど、琉大のお姉さん、お兄さんたちが考えてくれたレク大会を存分に楽しみ、競い合いました。

汗びっしょりになるまで駆け回ったわんぱくたち。一生懸命、競技に挑む姿にこれからの活動の期待を持ってました。



楽しい競技がたくさん詰まった障害物競走



チーム名	言うことやることゲーム	丸太ころがし	オセロゲーム	5色つなひき	しっぽとり	障害物競走	合計
山原チーム	2	1	2	4	3	3	15
スーパーかつやくチーム	2	2	4	3	2	4	17
トリプル3	2	1	3	1	2	2	11
フルーツチーム	1	2	3	2	1	2	11
あほ最強チーム	3	3	1	3	3	3	16
優勝 侍わんぱく団	4	3	2	4	4	4	21
サバイバルチーム	1	4	1	2	1	2	11

深読み大宜味村史4 喜如嘉

1967年8月4日（金）后8：30分

通史・資料編を合わせて1,100余ページにも上る村史編さんの基になった資料から順次紹介している。喜如嘉での聞き取り調査のメモである。

出席者 山城秀雄（ムツ又）、平良仁一（又吉ヤ）、平良真次（眞謝75才）、平良孝二、大山茂一（上井73才）、平良真順（9才）、金城重宜（ターニー村議）、区長仲原蒲、新島オーバー以下4人
倉啓、元康

ウズデーク 以前よりあったが中衰えて奈良原知事が赴任して（明25年）喜如嘉校の開校式に来村されたので歓迎のためにやった。その後もずっと中止してありました。喜如嘉40周年記念祝賀のため再び行った。戦後は2、3回行はれたが昔しの半分ほどの手踊しか残ってない

エイサー 7月モーイ 昔しは各家庭を廻って行ったが今はない。他所の部落は新手も多いが当部落はあんまり変わっていないと思う

7月ウンガミ踊 眞順氏 私が15才の時までは一年越に行はれた。男丈で踊る。その後ずっと中止。戦后男女共演された。中止した理由 経費が多くかゝるのでそれをやらうと言ひ出した者に負担を持たず事に決めたので誰れも口に出す者もいなくなり長い間止めた

上納 米で行い、農民は碎米僅か丈しか食べられなかった。明治31年まで上納した
歌 新島オーバー 「大和人ぬハギ頭 チブル チュヌムンクワ 人ぬ物食べてる よくはぎたる」

土地割 一人当り 男、女、大人、小人の区別なく人口に平等に水田3マルキ宛（54坪）配分

仕明地 大山、仲カ、眞謝等あった **のろ地** のろ所有地

字有地 大正4年認められなくなったので連名地になった。現在残って居るのは馬草採草地として13町歩。

仕立山 千人城、当山、石バー、塩口。杉、くすのき等植林。喜如嘉は少ないと言ふて謝名城より9町歩、饒波より13町歩喜如嘉へ編入した明治43年

村(字)船 船が難破して遭難死亡7、8人出した。それは今から84年前の頃でその後は廃止されて個人有があった。田中、我那覇と伝ふ商人

共同店 明治42、3年頃（1回目）

酒一手販売で大正11年頃発足部落で経営。主任明吉、仲吉、道二、孝二、正一、善次郎

産業組合 村一円のがあった。塩屋に本店があり組合長は前田豊吉、大城喜方、宮城民三、后で喜如嘉へ移り整理のため組合長宮城助市。大正7、8年頃か解散

コレラ黒疫病 今から74年前（68年前明32年）14、5人位 隔離場所 立名原 現在入幸地附近

奇病 大正3年頃 島尻から初まり2日目頃から化ろうする。きん炎（オーブガサ）と似て居った

毛遊び 隣村へ友人揃って行きよった

高ばた 今から66年前、源河ウエーキの娘から教えを乞に行った **地ばた**

トツキリ ナスイのオーバーサンが初めて考え出した

砂糖 浴川…赤口だった明治30年頃。酒原料として汁をとって居った。動力一仲カ大山茂機が初めて后で組合が買い取った

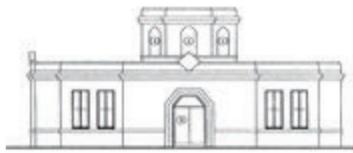
ウザイ 先端のものがたつたもので返すことは出来なかった。磯野式は大正10年頃入った

平鉄 田んぼ畔塗用。薄くて大きいもの **石鉄** 開墾用。小さいもの。

甘藷 アサン金で掘って収穫して居った。大正10年頃からうね立植が初まりその時から掘り返して収穫した新品種沖縄1号、100号、佐久川白、羽地台湾等、普天間より普及昭和元年頃か。后で宮城桃幸氏より100号～106号まで昭和初め頃でなかったかと思う。平良真次

水稻 正條植 献穀田が昭和7年に指定されて平良眞嘉良氏所有外堀田原に約90坪その後正條植

甘蔗 中茎種が入り後に大茎種が入った。宮城鉄夫—金城清松—平良眞順と一番早く普及された（大正10年頃か）。当時口1本50銭位するもの20箇口送ってくれた。25号



村史編さん室だより

第74号 2017年6月1日 大宜味村村史編纂室44-8009 Eメール:sonshi@vill.ogimi.okinawa.jp

旧庁舎 お宝写真発見！！



▲大正14年3月 右：金城平三氏（請負者） 左：金城鍛助氏（大宜味村長）

建物の前にそびえ立つ大きな松の木も特徴的です。当時役場で働いていた職員によると、屋上で松の枝の間から月を愛でる観月会が楽しみだったようです。

セメント樽が転がる竣工直後の庁舎を背に、カメラのレンズに収まる92年前の関係者の表情は見えませんが、誇らしげな雰囲気が伝わってきます。戦前の写真が一枚も見つかっていなかった中、大変貴重な写真です。

寄贈ありがとうございました。



▲大正十四年三月 大宜味村役場吏員一同及職工

大正14年（1925年）の主な出来事

- ・大宜味村の人口1703戸8026人（国勢調査）
 - ・大宜味村役場新庁舎議事堂で初めて村会を開く
 - ・大宜味村役場新庁舎落成式
 - ・県会議員に平良真順氏（喜如嘉）選任される
 - ・児童文庫開設（喜如嘉校）
 - ・大正天皇の銀婚式で各校記念行事を行う
 - ・25歳以上の男子に選挙権が与えられる
 - ・中学、師範、高専に軍事教練
 - ・名護～那覇間長距離電話開通
 - ・謝名城～大工又まで樟脳製造場視察（大宜味村長）
- （『大宜味村史』『大宜味村議会史』『シマジマ本編』より引用）



「しまふとうば」ぬくとう 17



道端に可憐なイジュの花が咲くと“沖縄慰霊の日”を思い出し、実体験のない沖縄戦に うみがーみー 思いを馳せる。そして見聞きした大宜味での戦争時のことを考える。村史編纂室では2年前に戦争証言集を発刊しているが、大宜味の人が決して語ることのできない大宜味での凄惨な事件を忘れてはいけないと思う。「渡野喜屋事件」である。戦時中大宜味の人々は山奥へと避難したが中南部からの避難民は慣れないやんばるの地で餓死者が出るなど、苦難を極めたと聞く。“渡野喜屋事件”は中南部の避難民が渡野喜屋（現在の白浜）にいた時に日本軍によって40人近い人々が殺戮された事件である。事件の様子はその現場に居合わせて生き残った人からの証言でしかわからない。

以下は2015年6月22日に東京新聞に掲載された記事の内容である

七十年前、全身に飛び散った手りゅう弾の破片が、今も体をむしばむ。「私は、四歳で『スパイ』として処刑された」。沖縄県読谷村（よみたんそん）出身の仲本政子さん（74）＝大阪市＝は、悲しげに笑う。日本兵が住民を虐殺した「渡野喜屋（とのきや）事件」で生き残った。

一九四五年五月、米軍に捕らえられた仲本さん一家は、県北部の渡野喜屋（大宜味村（おおぎみそん））の集落に收容された。村議だった父が、米兵にもらった食料をほかの人に配るのを、山に隠れた日本兵がじっと見ていた。「おまえたちは、こんないい物を食っているのか」。兵隊たちは夜中、一家が休む民家に踏み込んだ。仲本さんは母と兄、妹の四人で、砂浜に連行された。数十人いた周りも年配者や女性、子どもばかりだった。「アメリカの捕虜になって、恥ずかしくないのか!」。兵隊が怒鳴り、「一、二、三」の合図で手りゅう弾を何発か投げ込んだ。二歳の妹は死んだ。日本兵が引き揚げた後、米兵が倒れていた仲本さんを箱に入れ、テントに運んだ。父は別の場所で、首に短刀を突き刺されて殺された。両ひざは丸くくりぬかれ、「日の丸だ。勲章だ」と日本兵が持ち帰ったという。血の海に浮かぶ遺体を見つけた母と兄は、あまりのむごさに気絶した。これが、仲本さんが二十歳の時、兄から打ち明けられた話だ。三カ月後、兄は心を患い、入院した。「渡野喜屋はスパイ集落」という密告が事件のきっかけだった。「私たちがスパイだなんて殺す言い訳だ。戦争は悪魔を生む。人間を信じられない私は、今も暗闇の中にいる」。仲本さんは苦しみを明かす。



今月の生きもの

ヌマガエル：ヌマガエル科

グエグエグエグエ…。こんばんは、私、ヌマガエルです。

大きくも小さくもなく、派手でもない私。水田や沼などみなさんのすぐそばに住んでいるのですが、気づいてもらえないのがほとんどかも。私が目の前を跳んでも「あっ、カエルだ…」くらいにしかならないうちで認識されていないと思いますが、実は私、沖縄のカエルで唯一、全国にも分布しているカエルなのです。固有種の多い沖縄で全国的に見られるカエルってなかなか珍しいし、ある意味、貴重だと思いませんか？



6月の行事予定

- | | |
|---|----------------------------------|
| 1日（木）区長会
村育英会評議員会 | 15日（木）村教委学校計画訪問①（大宜味小） |
| 2日（金）国頭地区市町村教育委員会協議会 総会 | 17日（土）沖縄県スポーツ推進委員初任者研修会 |
| 3日（土）国頭地区中学校夏季総体 ～4日
北部地区スポーツ推進委員協議会
実技講習会（金武町） | 20日（火）地域教育懇談会①（旧喜如嘉小校区） |
| 10日（土）生涯学習② | 22日（木）地域教育懇談会②（旧大宜味小校区） |
| 11日（日）小中日曜参観日・交流球技大会 | 23日（金）沖縄慰霊の日 |
| | 25日（日）村ゴルフ大会（ベルビーチ）
国頭郡サッカー大会 |
| | 29日（木）生涯学習③ |